

今年度の重点課題（学校アクションプラン）

令和5年度 富山いずみ高等学校アクションプラン		
重点項目	1 学習活動	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>家庭学習習慣の確立</u></li> <li>・<u>「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の推進</u></li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科では生徒の進路目標が多様であり、選択した科目に応じた家庭学習の量や必要な学力が様々であることから、教科ごとに成績にばらつきが見られる。</li> <li>・進路や学習に対する目標が明確でない生徒は学習へ向かう姿勢が受動的になる等、学習意欲にも影響を与えている場合がある。</li> </ul>	
達成目標	①家庭学習の振り返りアンケートにおいて <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てて学習している</li> <li>・課題やそれ以外の学習に取り組んでいる</li> <li>・テストの見直しを行いその後の学習改善につなげているの各項目のポイント（10点満点）</li> </ul>	②ICT機器を有効活用した授業を行うことができた教員の割合
	3つの項目の平均点 5点以上／10点満点	90%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習振り返りシートを活用し、自分の生活リズムや学習方法、学習時間について考えさせる。</li> <li>・担任等による面接指導を充実する。</li> <li>・小テストや課題の提示を、評価の場面や方法を工夫しながら計画的に実施することで、学力の伸長や定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力の向上に向けた研修を行う。</li> <li>・教科内または異なる教科の互見授業を実施し、活用方法や工夫点等について意見交換することで、授業改善に活かす。</li> </ul>

令和5年度 富山いずみ高等学校アクションプラン		
重点項目	2 学校生活	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>集団生活におけるルールやマナーについて考え、自律できる力の育成</u></li> <li>・交通安全や防犯に関する意識の向上</li> <li>・<u>命を守ろうとする主体的な危機管理能力の育成</u></li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンの校内での使用ルールやマナーを守らない生徒や長時間使用し、学習や睡眠など生活に支障を来す生徒が一部存在する。また、少人数ではあるが安易にSNSに個人情報を掲載し、ネットパトロールから指摘をうけたり、外部より苦情がきたりトラブルに巻き込まれる生徒もいる。</li> <li>・昨年度の自転車乗車中における交通事故は9件発生している。</li> <li>・「スマホを使用しながら」や「イヤホンを着しながら」登下校する生徒も一部に見られる。</li> <li>・近年、全国各地で生活に甚大な被害をもたらす地震や水害などの自然災害が頻発している。富山県は比較的地震等の災害が少ないため、正常性バイアスにとらわれているケースも多く、生徒の危機管理意識に個人差が見られる。</li> </ul>	
達成目標	①交通安全とスマートフォン使用に関するアンケート回答で「ルールが意識できている」生徒の割合	②災害時の安全確保や感染症予防にも留意し、自分や周囲の人々の命を守るために家族や友人と共有できる知見やライフハックを身につけ、実践できるようになった生徒の割合
	80%以上 (1月実施「マナー・規範意識」アンケート)	75%以上

方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規律委員会主体による活動を充実させ、学校生活や諸活動に対する生徒の意欲を喚起し、規範意識を育む。</li> <li>・生徒会と規律委員会を中心に作成した「富山いずみ高校ネットルール」の全校生徒への周知を行い、正しいネットの使用方法について考えさせる。</li> <li>・規律委員会（サイクルリーダー）による自転車の鍵かけを呼びかけ、防犯意識涵養を図る。また、ヘルメットの着用についても呼びかける。</li> <li>・外部機関と連携し、安全教育に関する講演会を企画する。</li> <li>・生徒心得の見直しを通して、生徒自身が学校生活の在り方について考え、自分たちの課題について主体的に取り組む態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する知識やスキルを得られるよう、専門家の講義や体験的活動を企画する。</li> <li>・統一 HR「防災講座」で被災時に実践できる具体的な行動を考えさせる。</li> <li>・保健だよりや掲示などによる啓蒙活動を継続的に行い、理解を促す。</li> </ul>
-----	---	--

令和5年度 富山いずみ高等学校アクションプラン		
重点項目	3 進路支援	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>面接指導の充実</b></li> <li>・ <b>3年生への進路支援の充実</b></li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とのつながりについての意識が希薄であり、進路や学習に対する目標が明確でない生徒、あるいは狭い視野でしか物事を捉えることができていない生徒が散見される。</li> <li>・家庭学習が習慣化していない生徒、また、学習態度はまじめだが基礎学力が定着していないため学習に困難を感じている生徒が見られる。</li> <li>・3年総合学科では、1、2年生の指導をふまえて、個々の進路実現に向けた支援として、小論文や面接指導など志望先に応じた指導を充実させることが求められている。</li> <li>・大学入試制度改革への対応として、1年「産業社会と人間」、2年・3年「総合的な探究の時間」などを利用して、生徒が自分の考えをまとめて「話す・書く」などの、表現力を深化するための取り組みが始められている。</li> </ul>	
達成目標	① 面接指導の充実 ・面接を通して「自己理解が深まり主体的に進路を考えるために役立った」と回答する生徒	② 3年生への進路支援満足度 ・3年間の進路支援のための取り組みに対して「満足した」と回答する生徒
	80%以上	平均55%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査、学習時間調査、進路学習の振り返り、学習成績記録等を有機的に結びつけ、面接指導に活かす。</li> <li>・面接週間期間は生徒面談を優先するため校時・行事について配慮する。</li> <li>・教科担当者との面談も必要に応じ設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般選抜を含め、小論文指導、面接指導など、志望先に応じた指導体制の充実を図る。</li> <li>・過去問や受験報告書等の蓄積データをデータベース化し活用できるようにする。</li> <li>・生徒の進路志望と外部模試の結果分析を行い、授業改善や進路指導に活かす。</li> </ul>

令和5年度 富山いずみ高等学校アクションプラン

重点項目	4 特別活動		
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行部を中心とし、生徒全員による主体的な学校行事の取り組みを支援</li> <li>・各部活動やホームルーム、委員会活動に協働的に取り組む態度の育成</li> <li>・「朝読書」を継続する。</li> <li>・統一HR「読書の時間」で友人の読み方を知り、読書の面白さを味わう場を設定する。</li> <li>・「LIBRARY」の発行や企画展の実施等、図書委員会の活動を充実させ、幅広い読書を推進する環境づくりに努める。</li> </ul>		
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校行事に対する充実感が高い一方、参加意識や関わり方が薄い生徒も見られる。生徒一人ひとりが主役であることを意識させるとともに、積極的に企画運営に携わることで充実感を一層向上させたい。</li> <li>・部活動やホームルーム活動、委員会活動では、決められた役割を確実にやり遂げる生徒は多いが、グループ全体の目標や役割に対して協力して取り組もうという態度に物足りなさを感じる。目標達成や諸問題の解決のために仲間や教師と協働して取り組もうとする態度を育成したい。</li> <li>・朝読書により生徒たちは読書を身近なものにとらえている。しかし、残念ながら読書習慣にはあまりつながっておらず、家庭での読書量は朝読書の半分程度となっている。</li> </ul>		
達成目標	①各学校行事への取り組みに対する充実感、達成感	②ホームルーム活動をより充実・改善した担任の割合	③2学期末において、朝読書、朝読書以外も含めて、充実した読書ができたとする生徒の割合
	90%以上	80%	50%以上（1・2年生）
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートを実施し、生徒の意見や要望を取り入れることで、参加意識を高める。</li> <li>・生徒議会や生徒総会等を活用して各行事の内容を生徒に周知するとともに、広く意見を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの「育てたい力」を生徒ともに考え、年間を通して方策を探る。</li> <li>・ホームルーム活動の充実を図るため研修や学年単位での活動で、クラス発表の場を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書履歴調査に各学期の読書に関する目標を周知し、まず、落ち着いた雰囲気の中で一日をスタートし、朝読書の時間は集中して読書に取り組むようにする。各学期末に生徒が振り返る機会を設定する。</li> <li>・2学期末においては、充実した読書ができたと言えるように、各自が目的意識をもって読書に取り組むようにする。</li> </ul>

令和5年度 富山いずみ高等学校アクションプラン

重点項目	5 その他（看護科教育の充実）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>看護師国家試験合格及び進路実現を目指した学習及び進路指導の充実</b></li> <li>・<b>専門教科への興味・関心の向上及び職業観・社会人基礎力の育成</b></li> </ul>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年によってはクラス内で学力の二極化が見られ、生徒に合わせた学習指導が難しい。</li> <li>・看護師養成校として看護師国家試験合格は必須であり、合格率100%を目指している。</li> <li>・卒業後就職以外に保健師・助産師・養護教諭養成機関への進学や大学編入希望者がいる。</li> <li>・看護職者として社会人基礎力及び倫理観の育成が求められている。</li> </ul>	
達成目標	①進路実現 看護師国家試験合格率・進路達成度	②看護科意識調査での満足度 専攻科修了生への「看護科で学んで良かったか」「学習面・進路面」の問いに「満足した」と回答した生徒
	100%	80%以上

<p>方 策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策として、研修会に参加し、112回国試問題の分析による指導方法の工夫を図る。</li> <li>・外部模試や実力テストの事後指導と共に早期に必修問題に取り組み強化していく。</li> <li>・「解剖生理」などの基礎的知識定着に向け、授業改善、進度の工夫、評価方法の検討を継続していく。</li> <li>・高校1年次から継続的な学習習慣を確立し、学習時間の増加と生徒の習熟度に合わせた指導法を工夫すると共に、成績下位者への個別指導を行う。</li> <li>・就職試験対策講座を活用し、早期に進路決定させ、計画的に面接・小論文指導及び進路懇談会を実施する。また専攻科1年次の保護者会や高校での保護者懇談会の実施により理解を得る。</li> <li>・大学編入者、保健師・助産師への進学希望者の実態把握、校内での指導体制の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時より看護職者としての自覚及び社会人基礎力、倫理観の育成や看護教科に対する興味・関心を高める教科指導法や看護科行事を工夫する。</li> <li>・意識及び進路調査を分析し、生徒が抱える問題や悩みを把握し面接等の充実を図る。</li> <li>・シミュレーション教育を取り入れた演習の充実を図り、演習で身に付けた技術を臨地実習で活用できるように、生徒の学びや気づきを引き出す関わりをしていく。</li> <li>・合同ホームルーム及び自治会交流会などでのピアサポート活用による異学年間交流を充実させる。</li> <li>・臨地実習での振り返りを確実にを行い、達成感とともに自己の課題を明確にし、課題解決能力に繋げる。</li> <li>・専攻科2年次の就職対策への取り組みについて、保護者との共通理解を図る。</li> </ul>
------------	---	--